

みらい青空学園（中学部） 特別支援学級（D組）

校長 坂本 つかもと 副校長 伊木 文枝 田崎 清文 中島 裕人 所在地 旭丘2-40-1

学級数・在籍生徒数（令和8年4月現在）

学級数	生徒数	7年	8年	9年	計
5	男	12	5	9	26
	女	5	2	7	14
	計	17	7	16	40

学級紹介

1 みらい青空学園D組での学び

特別支援学級の教育課程は、特別支援学校学習指導要領および小・中学校学習指導要領に準じて行うことになっており、一律の教育内容が決まっているわけではありません。そして、その編成については、校長を中心に担当者が話し合い、全教職員の協力・了承を得るものとなっています。

みらい青空学園D組では、生徒一人一人の障害の程度や学力の実態に応じて、生徒・保護者のニーズや社会の要請を加えながら、適した教育課程を編成しています。

今年度も、基礎・基本の定着を重視しながら、学級の状況、生徒の状況に応じて、柔軟に対応していきたいと考えています。今年度は新1年生が17名入学し、生徒数40名、5学級編成（担任7名、非常勤教員1名、学校生活支援員2名）となりました。みらい青空学園D組では、一斉授業だけでなく、グループ別、学年別での授業も実施します。

2 特色のある授業

一斉授業は、社会、理科、英語、音楽、美術、保健体育、作業、家庭、生活単元学習、日常生活の指導で実施し、集団生活を意識しています。

グループ別授業は、国語・数学で、習熟度別にグループに分けて指導を行います。少人数（7～8人）の落ち着いた学習環境の中で、きめ細やかな学習指導ができるようにしています。「特別の教科道徳」では、7学年と8、9学年の学年別で行います。

総合的な学習の時間においては、行事に向けて一人一人の課題に応じた活動を行います。校内での発表会や練馬区立中学校特別支援学級設置校8校合同文化発表会などでその成果を発表します。また、国語の古典の学習として、百人一首の学習を行い、例年、青少年育成桜台地区委員会主催のかかるた会に参加しています。

3 さまざまな交流活動

日頃から通常の学級との関わりを進めています。具体的な交流の場として、運動会、修学旅行、音楽祭、その他学年ごとの行事での交流などがあります。お互いの理解を深め、生き生きと明るく生活するために、協力し合うことが大切であることを学んでいます。

また、施設一体型小中一貫教育校として、小学部の特別支援学級（あさひ学級）をはじめとした近隣小学校の特別支援学級との交流も積極的に進めています。

昨年度のあさひ学級と実施した小中合同学習では、小中合同の班編成で3グループに分かれ、体育館でポッチャを行いました。

小学生にルールを丁寧に説明をしたり、応援をしたりしてとても盛り上がりました。小学生も非常に満足した様子で、中学生の先輩として立派に役目を果たし、児童たちと交流を深めることができた充実の1日でした。例年、小学生は中学生への憧れや、目標をもち、中学生は自己有用感を高める機会となっています。



中村中学校（F組）

校長 ^{いのうえ はるよし} 井上 春好

副校長 ^{とのづか としえ} 殿塚 利江

所在地 中村南1-32-21

●学級数・在籍生徒数（令和8年4月 現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
3	男	10	5	3	18
	女	1	3	2	6
	計	11	8	5	24

～社会性を身に付け自立した生活を目指す～



◎ マナー（挨拶や身なり）、規則正しい生活習慣・道徳心等、社会生活を考え、指導しています。

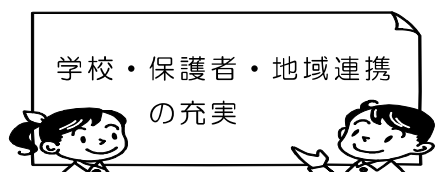
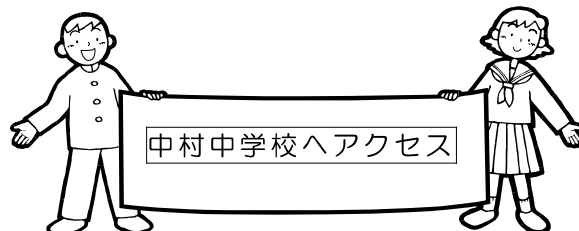
◎ 国語・数学は、課題別にグループ学習を行っています。

◎美術・音楽・理科では専門の講師を配置し、教員の専門性を生かしたカリキュラムを組み立てていますので、生徒が授業に興味をもち、楽しみながら学習を進め、学習目標に取り組むことができます。生徒一人一人に合わせ、社会生活に必要な内容を盛り込み学習を進めています。

<交流活動の推進>

◎運動会・合唱コンクールは、通常の学級に入って活動をしています。

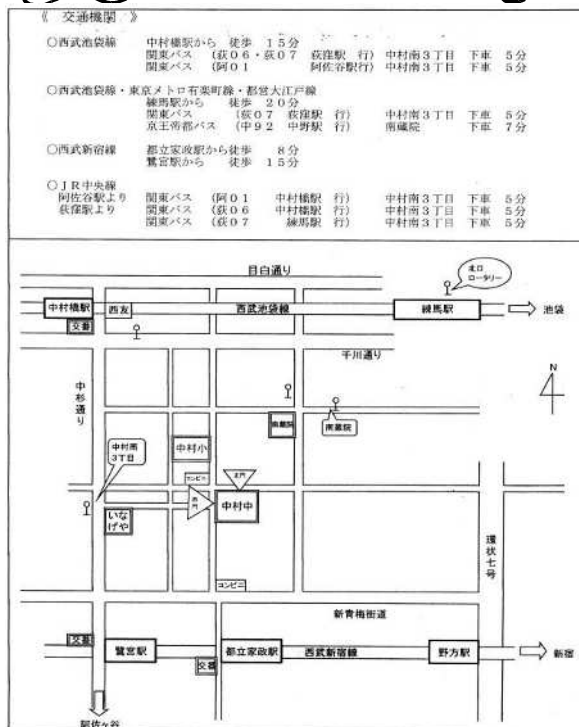
◎F組の生徒一人一人に交流学級を定めています。（共生社会を目指して）



◎学校行事や保護者会等を利用して、生徒の現状や進路について、話を進めています。また、進路選択が多様化していますので、情報収集と十分な話し合いが行えるように工夫しています。

◎地域との関係を深めるために、学校公開をはじめ、地域の方々と共に活動する場面を設定しています。（職場体験・避難拠点訓練等）

◎保護者と学校間では、各生徒の様子が日々分かるように、日課帳を通じて情報交換を行っています。



練馬中学校（6組）

校長名 もとすぎ たかやす 本杉 貴保

副校長 まつい ゆきこ 松井 由貴子

所在地 高松1—24—1号

学級数・在籍生徒数（令和8年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
2	男	4	2	3	9
	女	1	0	2	3
	計	5	2	5	12

不惜精進 ～自主・勤勉・共生～

教育目標

「将来に向けての自立を図るために、社会適応能力を身につけ、自己実現を図る。」

基本方針

- ① 生徒一人一人が自ら考え主体的に活動ができるよう、基本的な生活習慣の定着を図り、社会的自立の基礎としての生活力を育成する。
- ② 社会の変化に対応し、自らすすんで学ぶ姿勢と問題解のための基礎的知識、技能、応用力を育成する。
- ③ 自らの思いや考えを言語や文字で表現し、他者に正確に伝えられる力を育成する。
- ④ 豊かな心情、健康な身体、健全な社会適応能力を育成する。
- ⑤ 自己有用感を高めるため、多くの成功体験を味わわせ、努力することの尊さおよび楽しさを実感させる。
- ⑥ 目的意識をもたせるため、保護者・本人との面談を通して、個別指導計画を作成する。

指導の重点

- ① 言語活動の活発化
- ② 他者理解を含むコミュニケーション力の育成
- ③ 好ましい基本的生活習慣の定着
- ④ 生涯を通じた健康的な体力
- ⑤ 主体的に生きる力の育成

これらの目標を達成するために、各教科や行事等で年間を通して繰り返し学習します。

各教科の活動形態

国語	2グループ	（作文発表、スピーチ活動、生徒の実態に応じた基礎学習）
数学		（生活に即した四則計算など）
社会	一斉授業	（地理、歴史、公民分野の学習）
理科	一斉授業	（身近な科学的事象の学習）
英語	一斉授業	（会話表現、英文法、簡単な単語の学習など）
家庭	一斉授業	（作品作り、栄養、調理、裁縫など）
体育	一斉授業	（体力の向上、生涯スポーツへの取り組み）
美術	一斉授業	（デザイン、絵画、アート作品など）
作業	一斉授業	（リサイクル、PC操作など）
音楽	一斉授業	（歌唱を中心とした表現活動など）

音楽・美術は、主に教科専用の教室で学習をしています。
また、各専門委員会や各学年の校外学習、学年集会や学年活動に参加し、通常の学級の生徒と共に活動する機会を設定しています。



光が丘第三中学校（F 組）

校長 榮田 良晃

副校長 河合 ひとし

所在地 光が丘3-2-1

学級数・在籍生徒数（令和8年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
7	男	9	14	9	32
	女	7	8	2	17
	計	16	22	11	49

一人一人が輝ける学級をめざして

学習



F組では、将来、自立した生活ができるように実生活に根ざした学習をしています。
国語と数学は、課題別のグループ編成で、個々の課題に取り組んでいます。体育や音楽は一斉授業を行う時間があります。

主な行事



5月の**運動会**では、「台風の目」やクラス対抗リレーに参加しました。大縄跳びにも挑戦しました。



11月の**八校合同文化発表会**では、「ソーラン節」を光三中生徒全員で披露しました。



3月の卒業式の前に、F組の**お別れ会**があります。お礼の言葉や感謝の気持ちを心を込めて伝えます。



2月の**スキー移動教室**では、プロのインストラクターさんから教えてもらいました。

部活動紹介 F組クラブ



レクレーション部は、昨年度から通常学級の生徒も参加できるようになりました。



ものづくり部では、生徒の希望を取り入れて様々な制作を行っています。



球技部では、バドミントンやバスケットボールなどいろいろな球技に取り組んでいます。



園芸部では、畑でたくさんの野菜を育て、収穫し家庭に持ち帰っています。

「F組クラブ」とはF組独自の部活動で、月曜日と木曜日の放課後（15:45～16:30）に活動しています。

石神井中学校（I組）（あいぐみ）

校長 やまだ みすず 山田 美鈴

副校長 まえだ けんた 前田 健太

所在地 石神井台1-32-1

在籍生徒数 （令和8年4月現在）

	男 子	女 子	合 計
第1学年	6	2	8
第2学年	13	3	16
第3学年	13	4	17
6学級	32	9	41

（アクセス）



西武池袋線石神井公園駅から徒歩15分！
富士街道をまっすぐ進んで来てください！

多くの仲間と協力・切磋琢磨する環境の中で！

☆石神井中学校I組の生徒たちは、次の3つを学校生活で頑張っています！☆

◎何事にも一生懸命！（学習も！行事も！）

◎支えられる側から支える側への心の成長と自立！

◎挨拶・笑顔での仲間づくり！（毎日優しい声掛け）

学習面では

☆習熟度別授業展開を実施

進路指導を充実させ、将来に希望がもてる学習体制の充実

生徒の成長段階に合わせた教材を取り入れ取り組むことで、やる気とできた喜びを感じていくことができます。「自分もできる！」という自己肯定感を芽生えさせ、更に挑戦していく向上心を育成しています。また、生徒個々に適した進路指導を実践していくことで、将来に希望をもち、自己実現に向かって努力できる学習環境を大切にしています。

生活面では

先輩が後輩をサポートする体制が整っています。学校生活を一緒に楽しく、そして規律ある行動ができるように上級生が模範となってくれています。また、支えられる側から支える側への意識改革を行うために、今の自分にできることを実践し、自己肯定感を高めていく指導をしています。更に、身だしなみを意識して清潔感を大切に生活した生活を心掛け、明るく元気な挨拶がお互いにできる学校生活を目指しています。

南が丘中学校（E組）

校長 金 誠一郎

副校長 まさか 眞坂 あきこ

所在地 南田中4-8-23

学級数・在籍生徒数（令和8年 4月現在）

学級数		1年	2年	3年	計
3	男子	1	9	2	12
	女子	5	2	1	8
	計	6	11	3	20



～アットホームな環境で社会的自立を目指す～

充実した学習環境

- 4つの教室に加え、広い校庭、2つの体育館、畑、花壇、さらに近接するスーパー、図書館等で授業を行います。
- 生徒20人に対して、4人の教員、3人の学校生活支援員、3人の時間講師で生徒を手厚く支援していきます。
- 授業により、グループ別学習を実施しています。
3グループ…国語、数学（習熟度別）
2グループ…職業、家庭、情報、英語
全体授業…体育、音楽、理科、作業、美術、社会、生活単元



規律ある学校生活

- 学校全体で取り組む、あじみこし（あ 挨拶、じ 時間を守る、み 身だしなみを整える、こ 言葉遣い・心遣い、し 姿勢）の徹底。基本的なことだからこそ、力を入れて指導しています。
- 上級生から下級生へのサポート体制ができています。みんなが楽しく、安全に学校生活を送るために教員だけではなく、上級生たちが模範となっています。

特色のある教育活動

- ビジョントレーニングの実施。
 ビジョントレーニングは、眼の機能を高めるトレーニングで週3回、朝の学習時間に取り組んでいます。文章の読み飛ばしや文字を正確に書き写せないといった課題、運動面では演技などで模範の通りに体を動かすことができないといった課題への効果が期待されます。
- 施設を利用した学習。
 近隣のスーパーマーケットを利用した買物学習、郵便局を利用した貯金学習、練馬区立図書館を利用し、公共施設でのマナーなど様々な施設に行き学習しています。

谷原中学校（F 組）

校長 鈴木裕行

副校長 岩本 伸一

所在地 谷原 4-10-5

学級数・在籍生徒数（令和8年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
3	男	1	7	6	14
	女	2	3	4	9
	計	3	10	10	23

谷原中学校 F 組

特別支援学級

★ 谷原中学校 F 組は、次の四つの柱で教育活動を行っています。

1 自立の支援

生徒たちが将来、自立した社会生活を送れるように、“自分のことは自分です”ことを呼びかけています。また、同時に仲間と協力して、活動することの大切さも経験を通して学べるように指導しています。

2 からだづくり

自らの健康に関心をもち、健康管理が自分でできるよう指導しています。睡眠、運動に加え、食育指導も併せて行い、強くてしなやかな身体づくりを目指していきます。

3 基礎学力・技術の充実

まずは、読むことや書くことを中心に基礎学力の充実を図っていきます。さらに、はさみ、のり、穴あけパンチ等の基本的な作業能力を身に付けさせて、各教科の学習活動で応用させながら、自立のための基本技能の伸長を図ります。

4 意欲を育てる

学校生活における様々なことに自分から積極的に関わり、“自分でできた”という経験から自信を付けて、次の意欲につなげていけるように指導しています。

また、通常の学級の生徒と一緒に、生徒会の委員会活動や学校行事の実行委員会にも所属して、リーダー性の向上にも取り組みます。

F 組では、年度初めに学級目標を生徒同士で話し合いながら決めています。

その後、校内の自然豊かな「やはらの杜」を 1 年生が散策し、落ち葉や枝、木の実などを拾い集めます。それらを材料に、F 組全員で学級目標の文字を形づくり、装飾して掲示します。

自然親しみながら、仲間と協力して一つのものを作り上げる活動です。来校の際には、是非ご覧ください。

